



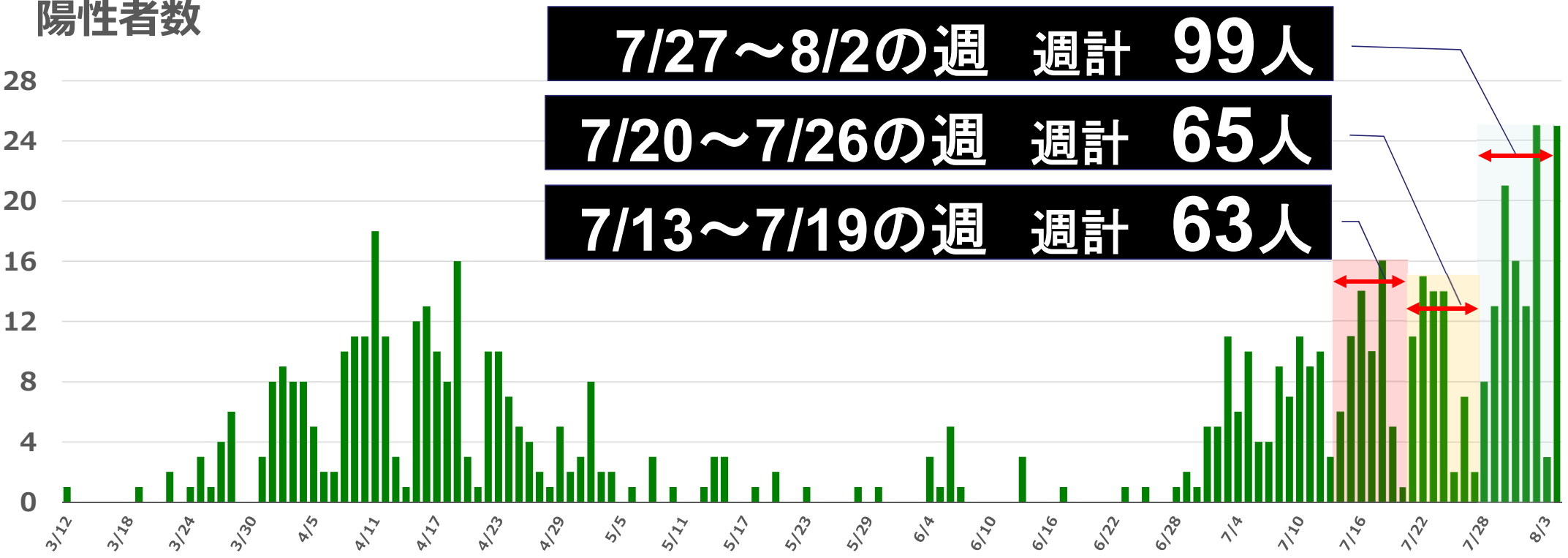
かわさきコロナ情報

～PCR検査・抗原検査の実施の考え方等～

令和2年8月4日（火）

新型コロナウイルス感染症 陽性者発生状況

陽性者数



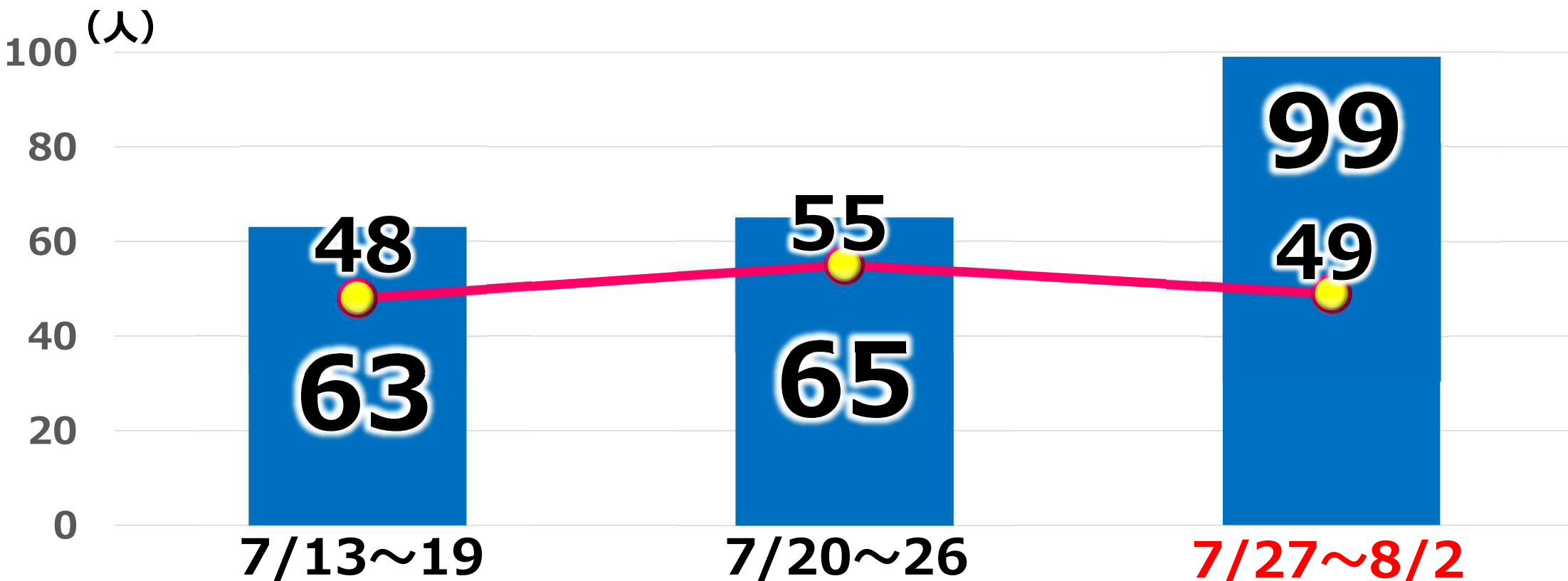
8/4現在

累計 637人 本日 25人 の陽性者が報告

直近 1 週間の新規陽性者数 (棒グラフ)

と

市内医療機関における入院中の患者数 (折れ線グラフ)

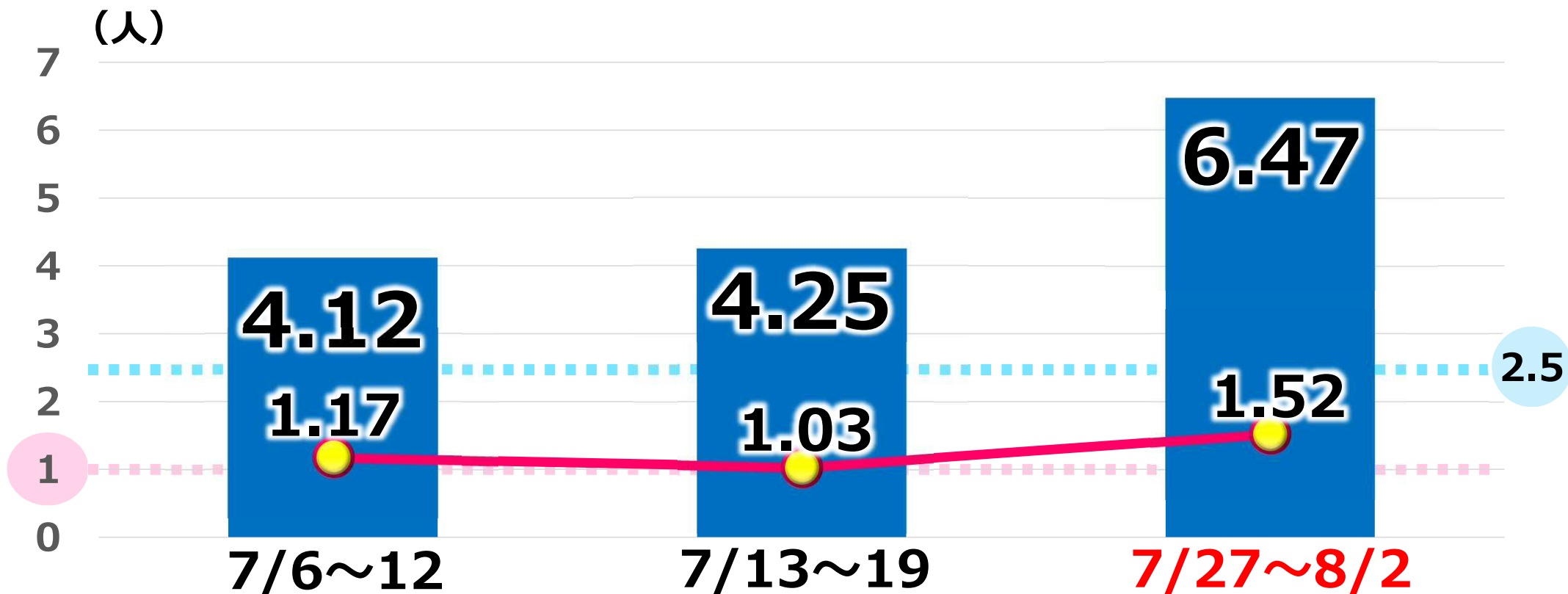


7/1 現在、感染症患者受入れのための病床を市内に **270床** 確保

直近1週間の人口10万人当たりの新規陽性者数 (棒グラフ/左軸)

と

週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数) (折れ線グラフ/右軸)

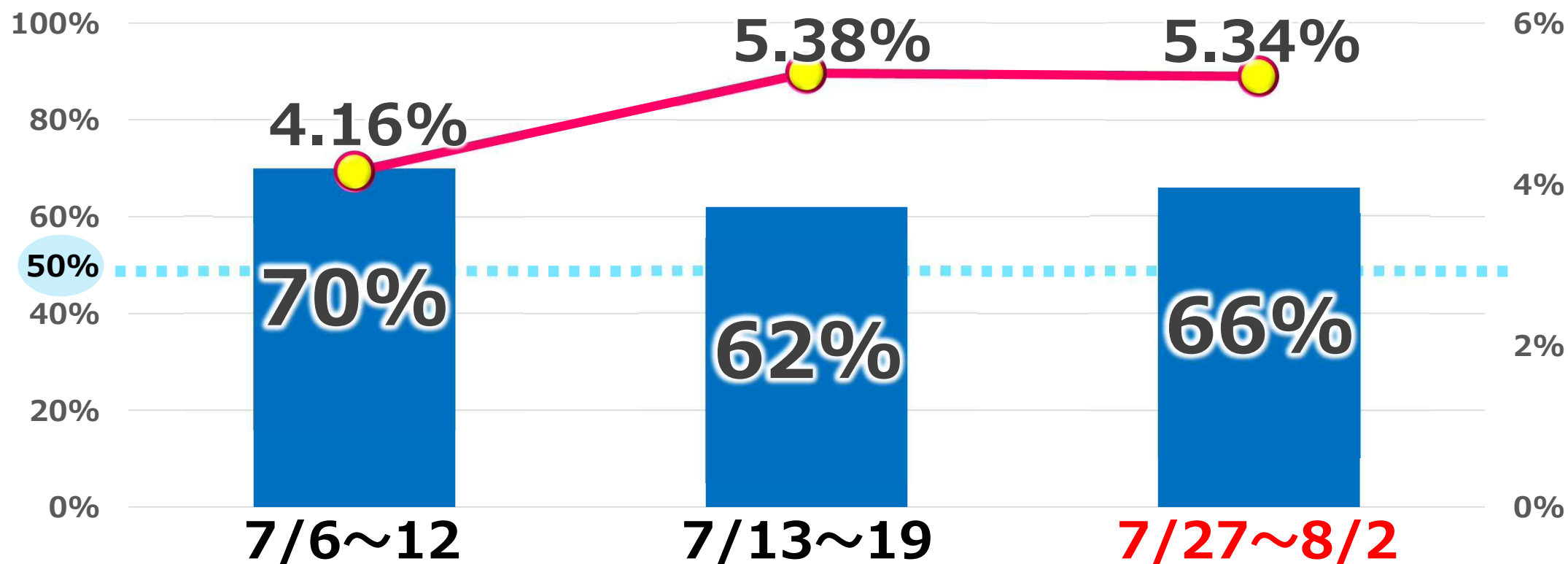


- は、国の専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」で示された目安基準
- は、神奈川県「神奈川警戒アラート指標」による基準

直近 1 週間の感染経路不明者の割合 (棒グラフ/左軸)

と

直近 1 週間の陽性率 (陽性者数 / 検査実施人数) ※ (折れ線グラフ/右軸)



※健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出 (本市発表以外陽性者も含む)

..... は、神奈川県「神奈川再警戒モニタリング指標」による基準を準用

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況



感染症の発生状況に関する評価 (川崎市健康安全研究所 岡部所長)

～ 7/27～8/2のモニタリング状況より ～

新規陽性者数は、99人（前週65人）と、**増加傾向**が続いています。

市内の**流行状況を示す目安基準**は、いずれも前週を上回っており、**アラート状態ではありませんが**引き続き**注意は必要**です。

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況



感染症の発生状況に関する評価 (川崎市健康安全研究所 岡部所長)

川崎市内においては重症患者さんの受け入れには余裕があり、一般の医療も落ち着いて行われていますが、軽症でホテルや自宅などで様子を見ている方の数は増加しており、できるだけ感染者数が増えないようにする注意は依然として必要です。

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況



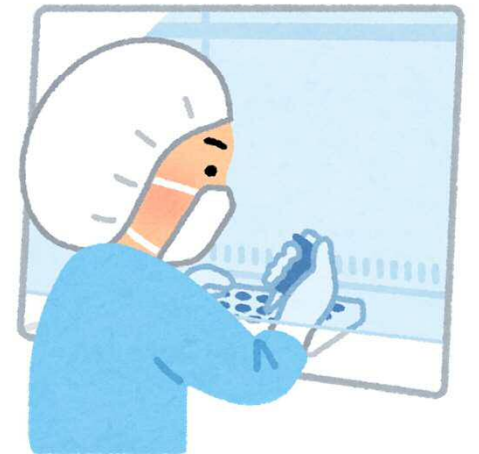
感染症の発生状況に関する評価 (川崎市健康安全研究所 岡部所長)

戸外でもしっかりとマスクをつけていると、熱中症のリスクも高まります。戸外や風通しの良い所で、人と人の間隔が十分あいているような所ではマスクを外し、良い空気を吸うことも健康のために大切です。

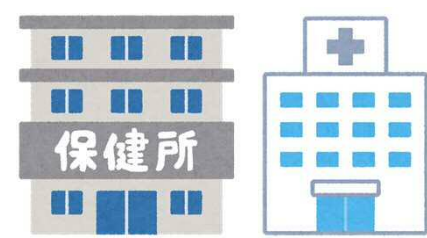
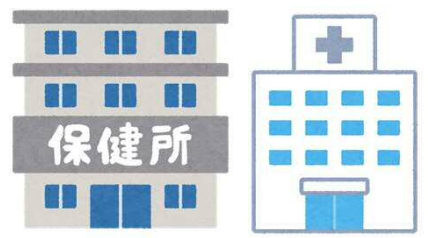

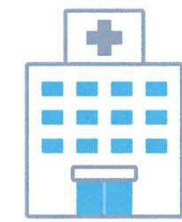
また夏休みを利用してお出かけの際は、混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数で、ゆっくりと過ごされることをお勧めします。



PCR検査・抗原検査の 実施の考え方



PCR検査・抗原検査の実施の考え方

	症状 <u>ある</u>	症状 <u>ない</u>
陽性者と <u>接触あり</u>	<p>行政検査</p>  <p>保健所</p> <p>※新型コロナを疑って、検体を採取した場合</p>	<p>行政検査</p>  <p>保健所</p> <p>※保健所等が濃厚接触者と判断した場合</p>
陽性者と <u>接触なし</u> 又は <u>わからない</u>	<p>行政検査</p>  <p>保健所</p> <p>※新型コロナを疑って、検体を採取した場合</p>	<p>自由診療</p>  <p>※接触を疑う条件が特にない場合や、受診者の希望（海外渡航時など）</p>

7/30 川崎市健康安全研究所 菅官房長官視察



官房長官のコメント

新型コロナウイルスのような未知のウイルスへの対処は、正確な診断を行うための検査が不可欠。

最新の技術を活用して検査体制を整備することで、感染拡大防止と社会経済活動の両立をしっかりと図っていきたい。

「川崎市健康安全研究所」で検体処理や研究所内の様子を視察する菅官房長官